

「百葉箱」の語源について

The origin of Japanese word for the wooden thermometer screen: "hyakuyo-so"

*山本 哲¹

*Akira YAMAMOTO¹

1. 気象研究所

1. Meteorological Research Institute

気象観測で用いられる「百葉箱」の語源については、日本で作られた語であること、中国語の「百葉」あるいは「百葉窓」に由来することなどが推定されていた（塩田1996、山口 2006）。当時の気象当局の文献を調べた結果、"Stevenson's Box for thermometer"（図）の態様を表す"double louvre boarded box"という英語表現を直訳した「（ステイブソン形）二重百葉窓箱」が縮めて呼ばれるようになったものと推察された。百葉箱の日本への導入経緯についても考察する。

図

（左）新型の温度計設置用の箱についてのThomas Stevensonの報告中の挿絵。2列のよろい板（double row of louvre boards）が特徴とされている。

（右）10種類以上の温度計台（Thermometer Stand）を紹介した雑誌連載記事に掲載された"Stevenson's Thermometer Stand"の挿絵。この絵は広く使われ、日本で最初に編集された「気象観測法」（1886）にも同一のものが掲載された。

参考文献

塩田正平. 百葉箱の呼び名について. 気象. 1996, vol. 40, no. 7, p. 7-11.

山口隆子. 日本における百葉箱の歴史と現状について. 天気. 2006, vol. 53, no. 4, p. 265-275.

キーワード：百葉箱、気象観測、気象学史

Keywords: thermometer screen, meteorological observation, history of meteorology

Fig. 1.

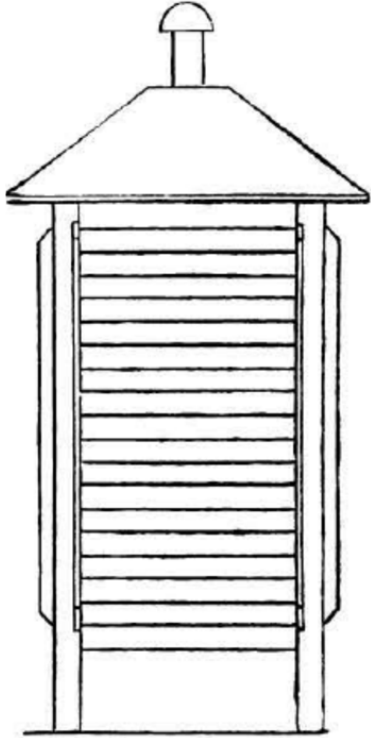
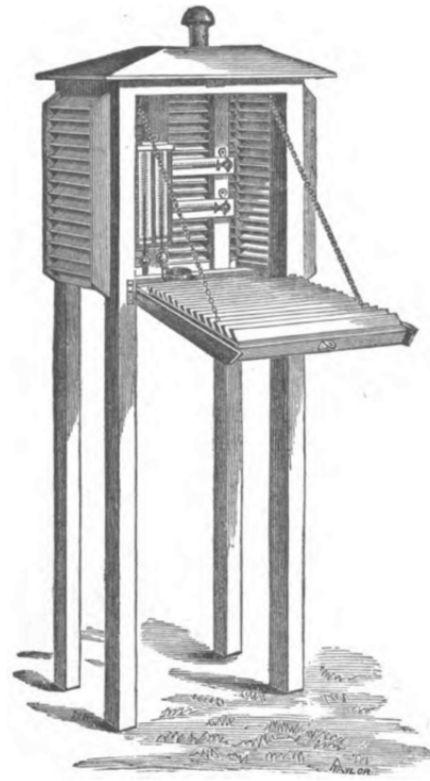
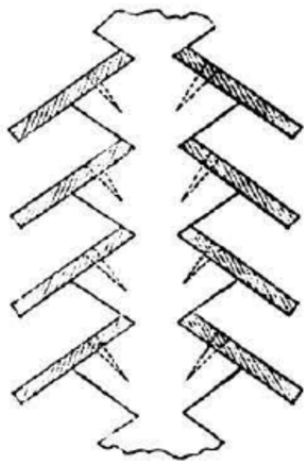


Fig. 2.



STEVENSON'S THERMOMETER STAND.
[See page 2.]

Symons's Monthly Meteorological
Magazine (1869)

Journal of Scottish Meteorological
Society (1864)